

短日処理によるトルコギキョウ切り花のボリューム向上

トルコギキョウ切り花栽培における高温・長日期に定植する作型では、定植後 20 日間を 9 時間日長となるように短日処理することで、ボリュームに優れた切り花を生産できる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室 (担当者: 工藤陽史)

研究のねらい

高温・長日期定植のトルコギキョウ切り花栽培における、ブライダル等の業務需要に対応できるボリュームに優れた切り花生産技術を開発する。

研究の成果

1. 短日処理期間中の夜間 (18~8 時) の平均気温は、無処理の 24.7℃に対して短日処理は 26.9℃と短日処理で高くなるが、ロゼット節数に差はない (図 1)。
2. 発蕾日は、短日処理区は無処理区に対して「ボレロホワイト」で 9 日、「エクレア」24 日遅くなる (表 1)。
3. 主茎長は、節間の伸長は、短日処理で無処理より短いですが、節数が増加して短日処理が無処理より長くなる (図 2)。
4. 収穫日は、短日処理は無処理に対して「ボレロホワイト」で 31 日、「エクレア」45 日遅くなる (表 2)。
5. 切り花品質は、定植後 20 日間を 9 時間日長となるように短日処理することで、無処理より切り花長が長く、切り花重が重く、茎径が太くなりボリュームが向上する。しかし、有効側枝数は差がなく、商品花蕾数は「ボレロホワイト」では差がなく、「エクレア」ではブラスチングの発生でやや少なくなる (表 2)。

普及上の留意点

1. 平成 21 年 8 月 25 日に本葉 3 対展開苗をガラス温室定植して、ホワイトシルバーフィルムを用いた畝ごとのトンネル被覆による短日処理した結果。
2. 短日処理で収穫期が遅くなるため、ブラスチングおよび開花遅延に留意する。

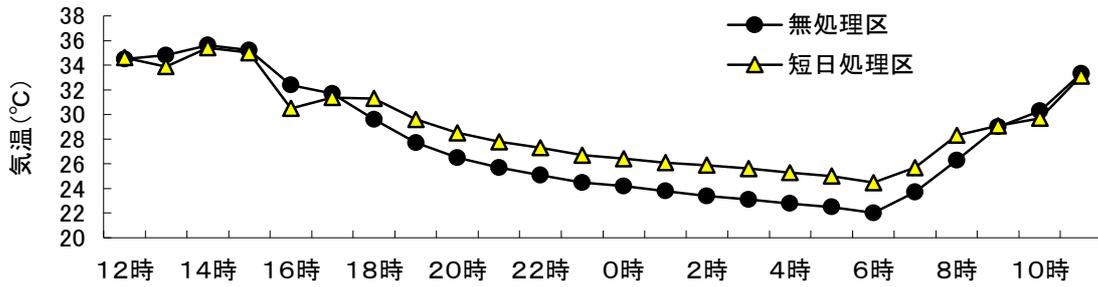


図1 処理期間中の平均温度 (H21.8.25~9.14)

表1 短日処理が節数及び発蕾日に及ぼす影響

品種名	処理	節数 (節)			発蕾日 (月/日)
		ロゼット節	抽だい節	合計	
「ボレロホワイト」	なし	4.0	6.2	10.2	9/20
	短日	3.9	8.7	12.6	9/29
	有意差	NS	**	**	**
「エクレア」	なし	3.9	6.7	10.6	9/26
	短日	4.5	8.4	12.9	10/20
	有意差	NS	**	**	**

※有意差 t検定 **1%水準で有意差があることを示す

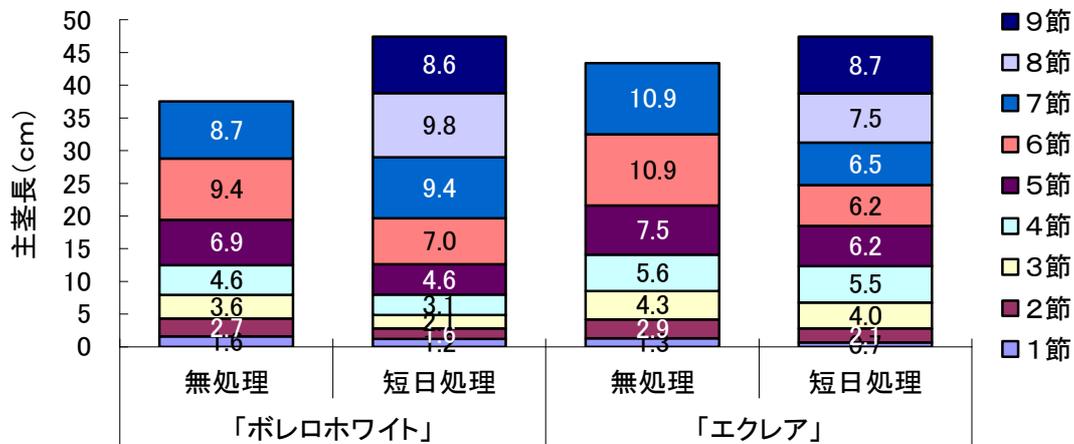


図2 短日処理が主茎長に及ぼす影響

表2 収穫日と切り花品質

品種	試験区	収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	主茎長 (cm)	茎径 (mm)	有効側枝数 (本)	商品花蕾数 (輪)	プラスチック蕾数 (個)
「ボレロホワイト」	無処理	11/16	67.1	48.9	32.0	4.3	2.6	6.9	0.7
	短日処理	12/17	79.0	70.2	45.8	5.4	2.7	7.1	1.8
「エクレア」	無処理	11/10	66.0	47.7	40.4	4.4	2.5	5.1	0.1
	短日処理	12/25	71.8	69.2	47.4	6.0	2.5	4.4	0.8

※ 商品花蕾数: 開花小花と3cm程度に肥大した蕾